

<p>教育学・心理学</p>	<p>【代表的な研究テーマ】</p> <p>□ インクルージョン概念の探究 ～インクルーシブな授業・学校・地域づくりに向けて～</p>
<p>keyword</p>	<p>課題解決に役立つシーズの説明</p>
<ul style="list-style-type: none"> ■ インクルージョン ■ 特別支援教育 ■ 発達相談 	<p>学校では、さまざまな子どもたちが学んでいる。障害のある子どもや医療的ケアの必要な子ども、外国にルーツのある子ども、貧困家庭の子ども、虐待を受けている子ども、不登校の子どもなど…多様な教育的ニーズを持つ子どもたちが地域の学校で共に学び共に育つために、「地域」とは何か、「学校」や「授業」がどうあるべきかを問い直すことで、インクルーシブな教育の実現をめざしていきたい。</p>
	<p>◆ インクルージョン概念の定立に向けて—科研での共同研究— 2013年度より3年間、科学研究費助成事業交付を受けて、インクルーシブ授業方法の国際比較研究に携わった。 (写真は、ザクセン州教育庁で担当者から説明を聞いているところ (2014.9.15))</p> 
<p>窪田 知子 Tomoko Kubota</p>	<p><主な研究成果物></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ インクルーシブ授業研究会編『インクルーシブ授業をつくる—すべての子どもが豊かに学ぶ授業の方法』(ミネルヴァ書房、2015)の刊行 ・ 『インクルーシブ授業方法の国際比較研究』(福村出版、2018)の刊行
<p>教育学部 准教授</p>	<p>◆ インクルーシブな地域・学校・授業づくり—地域との共同研究— 地域教育支援室による「地域教育支援をねらいとした共同研究」で、次のような研究を行ってきた。</p>
<p>【プロフィール】 <専門分野> ・障害児教育 ・特別支援教育</p> <p><略歴> ・2002年 京都大学教育学部 卒業</p> <p>・2007年 京都大学大学院 教育学研究科 教育科学専攻 博士後期課程 研究指導認定退学</p> <p>・修士(教育学)</p> <p>・2008年 大阪千代田短期大学 幼児教育科 特任講師</p> <p>・2010年 滋賀大学教育学部 講師</p> <p>・2014年 滋賀大学教育学部准教授</p>	<p>① 滋賀県総合教育センターとの共同研究(トータルアドバイザーとして参加)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 通常学級における特別支援教育の手法を取り入れた授業の進め方 — 実技等を伴う学習における「分かる」「できる」授業づくりを目指して— (2013年度) ・ 通常学級における書字のつまずきの理解と効果的な支援に関する研究 — 小学校低学年における指導の工夫— (2014年度) ・ 通常の学級における書字のつまずきの理解と効果的な支援に関する研究Ⅱ — 小学校低学年における指導の工夫Ⅱ— (2016年度) <p>② 地域の小学校との共同研究(指導助言者として参加)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業のユニバーサルデザインプロジェクト — 書くことを楽しむ児童の育成を目指して— (2014年度) ・ 特別支援教育に関する研究(2015年度) <p>(気になる子どもたちの実態把握を踏まえた個々の児童への支援と学級・授業のあり方について)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 通級指導教室における効果的な指導・支援のあり方について(2017年度) ・ 中学校に設置された通級指導教室における指導・支援のあり方について(2019年度) <p>◆ 発達相談員としてのフィールドワーク—現場と研究と教員養成をつなぐ— 自治体の発達相談員を務める中で、教育現場や家庭の“リアル”な姿にふれ、新たな研究課題と出会う。また、教員養成の課題を考えさせられる機会も多い。引き続き、現場(フィールド)と研究と教員養成をつなぐ意識を持ちながら、子どもたちの教育がより豊かになるためにできることに地道に取り組んでいきたい。</p> <p>企業・自治体へのメッセージ</p> <p>特別支援教育に関する研修・共同研究などを通して、教育現場の先生方と協同していきたいと考えています。</p>